

大館労働基準監督署発表
令和 6年 12月 3日

【照会先】
大館労働基準監督署
署長 金森 健
安全衛生課長 千葉 知幸
(電話) 0186-42-4033

報道関係者 各位

～降雪期の転倒災害にご注意を～

「凍結や積雪路面での転倒災害が多発」

大館労働基準監督署管内（大館市、北秋田市、鹿角市、小坂町及び上小阿仁村）における労働災害発生状況を取りまとめたところ、「転倒災害」が最も多く発生しており、昨年は全労働災害の21.4%を占め、また、転倒災害の多くは降雪期（1月から3月及び12月）に発生しております。

大館労働基準監督署では、窓口に転倒災害防止に係るリーフレット（資料1※）などを用意しているほか、あらゆる機会に降雪期の転倒災害防止対策の取組について周知を図って参ります。

※秋田労働局ホームページの「STOP！ 転倒災害プロジェクト」（特設サイト）からも入手可能です。

【降雪期における転倒災害の特徴（当署管内）】

- ・ 業種別（R1～R5）では、商業が26.0%と最も多く、次いで、保健衛生業で24.2%、製造業で18.1%となっています。（別紙1・図表4）
- ・ 月別（R1～R5）では、**降雪期に5割強（54.4%）発生**している状況となっています。（別紙1・図表6）
- ・ 発生場所（R3～R5）は、屋外が78.5%、屋内が21.5%となっており、そのうち、**雪又は凍結路面等が起因した転倒災害の発生場所は、駐車場（敷地外管理地を含む）が31.9%と最も多く、次いで、敷地内（通路・作業場所）が23.2%、道路（敷地外公道）が21.7%**となっています。（別紙2・図表7、8）
- ・ 発生時間帯（R3～R5）では、**8時台が15.1%と最も多く、**次いで、9時台が10.8%、7時台と10時台が8.6%となっています。（別紙3・図表9）
- ・ 被災者の年齢別（R3～R5）では、60歳以上が41.9%と最も多く、次いで、50歳代が30.1%と、**50歳以上の労働者の占める割合が7割強（72.0%）**となっています。（別紙4・図表10）
- ・ 被災程度別（R3～R5）では、**休業1月以上3月未満が55.9%と最も多く、**次いで、2週以上1月未満が21.5%となっており、**一度発生すると、長期休業を要する傾向**を示しています。（別紙4・図表11）
- ・ 管内は降雪のほか、冷え込みが厳しいこと、日中と夜間の温度差が大きいことから、溶けた雪が凍るなどにより、積雪下の路面が凍結している状況での駐車場や敷地内の歩行中の災害が多く

発生しています。

【転倒災害防止対策】（資料1～3）

転倒災害防止対策として、以下の内容に係る取組の実施をお願いします。

- ・転倒予防のためのいきいき健康体操、労働者の転倒リスク測定の取り組み
- ・転倒危険場所への注意表示（見える化）、通路等の整理整頓や段差の解消による転倒災害防止
- ・屋外通路の除雪、融雪剤の散布による凍結防止

【問合せ先】

大館労働基準監督署 安全衛生課（担当：千葉）

〒017-0897 大館市字三の丸6-2 電話：0186-42-4033

報道機関の皆様には、労働災害防止に向けた取組について関係者をはじめ県民に広く浸透するよう、取材・報道をお願いいたします。

添付資料等

別紙1 転倒災害の発生状況

別紙2 降雪期の転倒災害・発生場所別

別紙3 降雪期の転倒災害・発生時間別

別紙4 降雪期の転倒災害・年齢別及び被災程度別

資料1 転倒防止かべ新聞・ポスター

資料2 STOP！転倒災害（大館署作成）

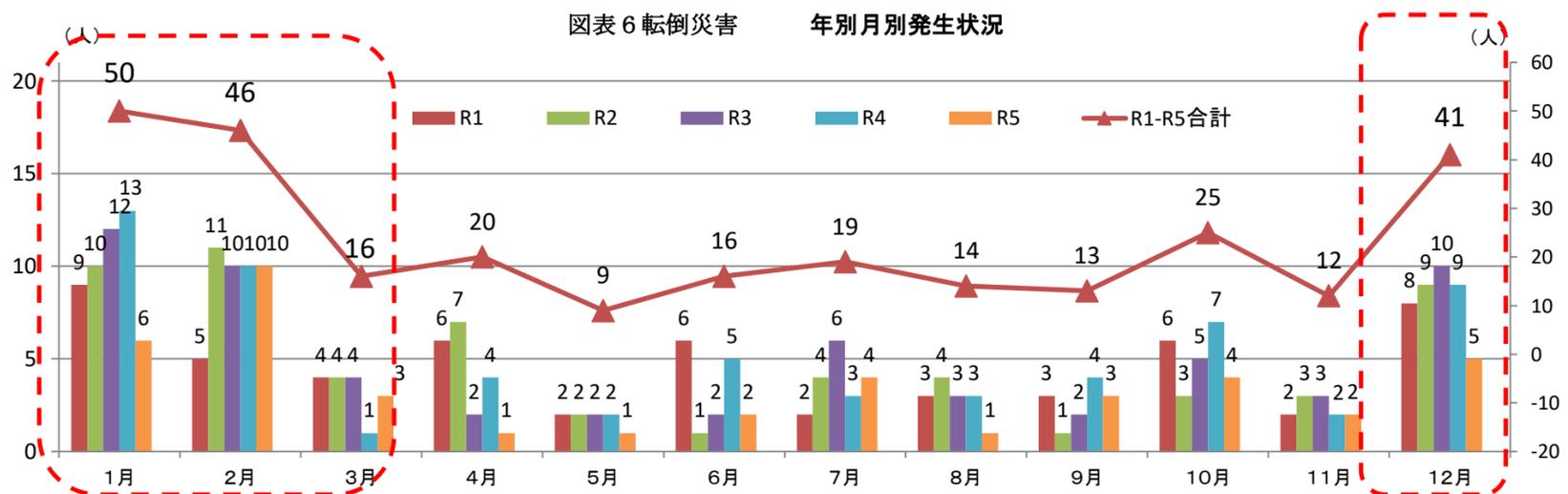
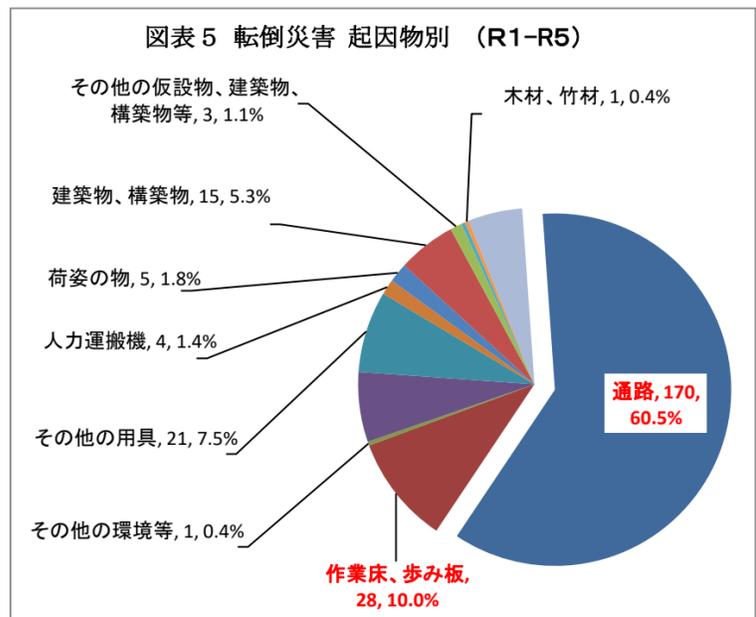
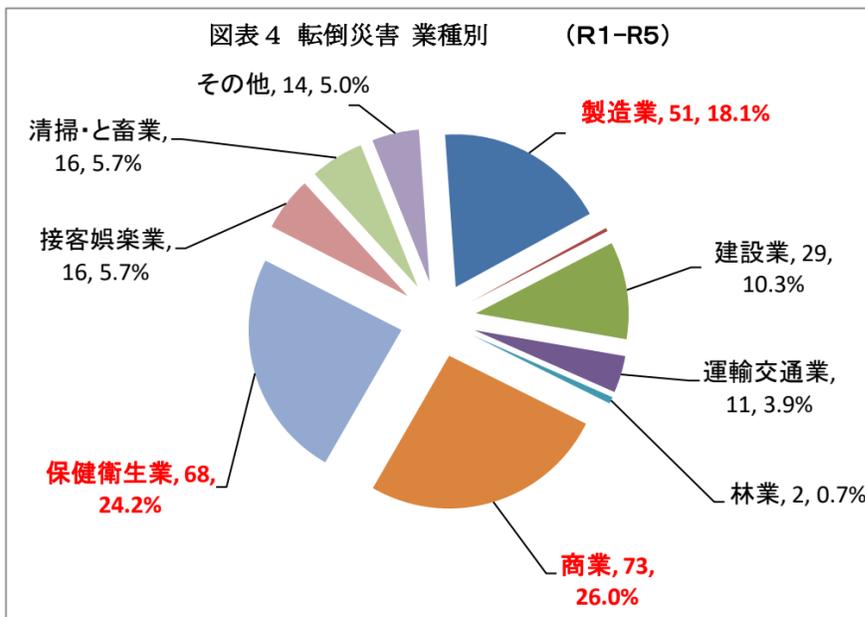
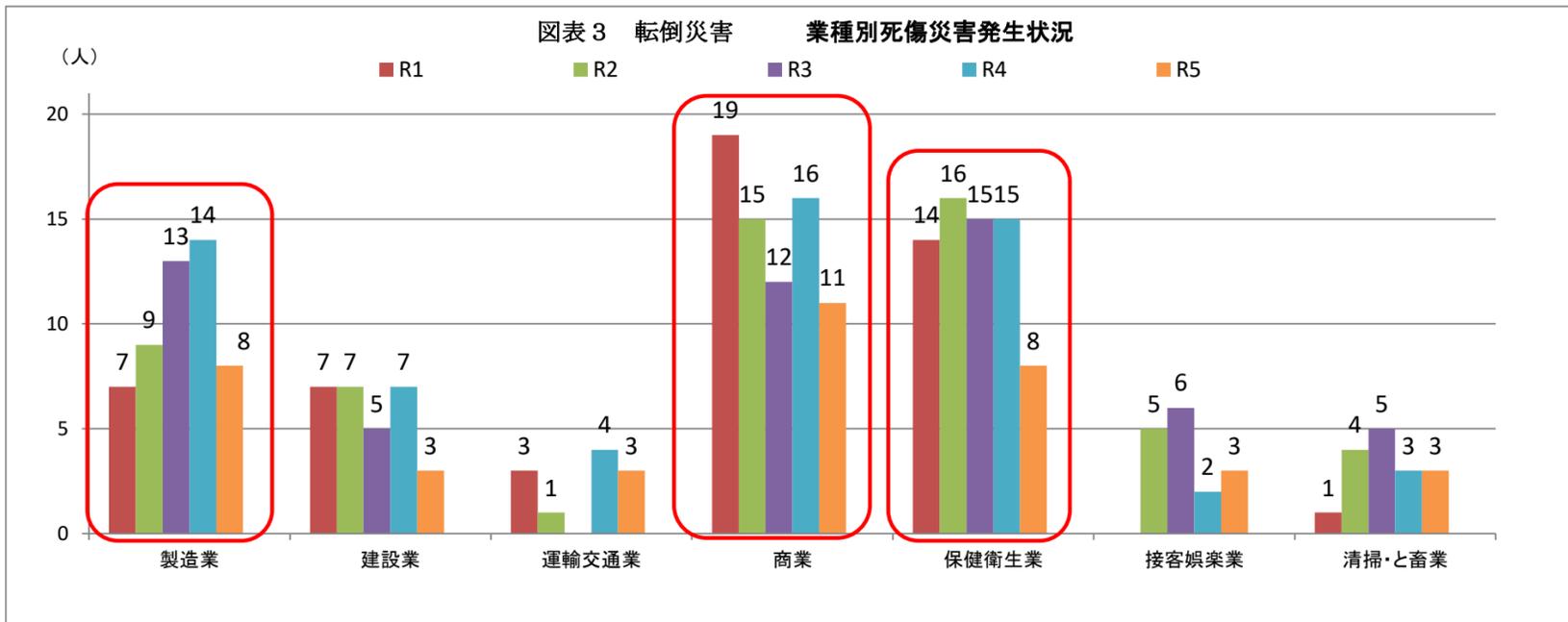
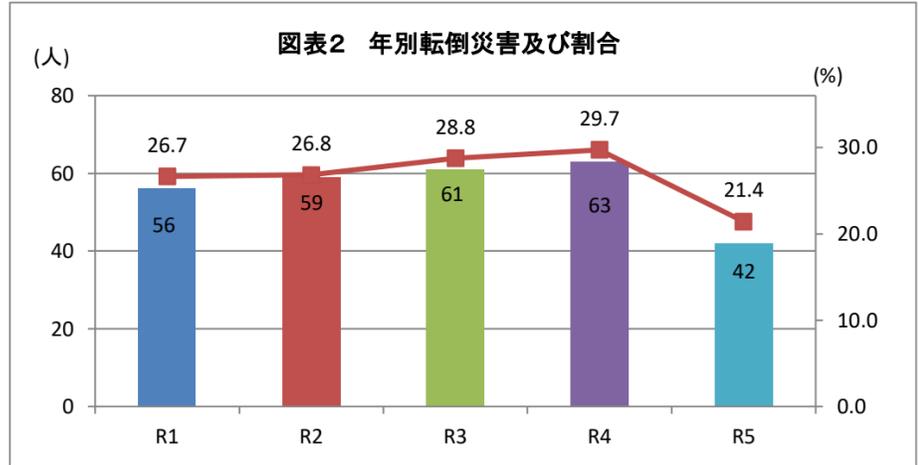
資料3 労働者の転倒災害（業務中の転倒による重症）を防止しましょう（リーフレット）

転倒災害の発生状況 (被災者数は、労働者死傷病報告(休業4日以上)を集計したもの。)

大館労働基準監督署

図表1 転倒災害業種別(大分類)災害発生状況

業種	R1	R2	R3	R4	R5	計
製造業	7	9	13	14	8	51
鉱業	1					1
建設業	7	7	5	7	3	29
運輸交通業	3	1		4	3	11
林業	1			1		2
商業	19	15	12	16	11	73
保健衛生業	14	16	15	15	8	68
接客娯楽業		5	6	2	3	16
清掃・と畜業	1	4	5	3	3	16
その他	3	2	5	1	3	14
小計	56	59	61	63	42	281
割合(%)	26.7	26.8	28.8	29.7	21.4	26.8
全事故の型	210	220	212	212	196	1,050

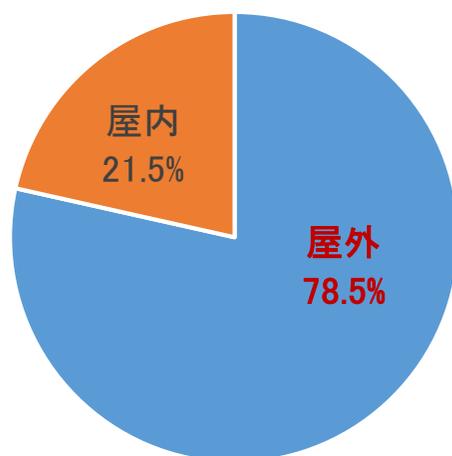
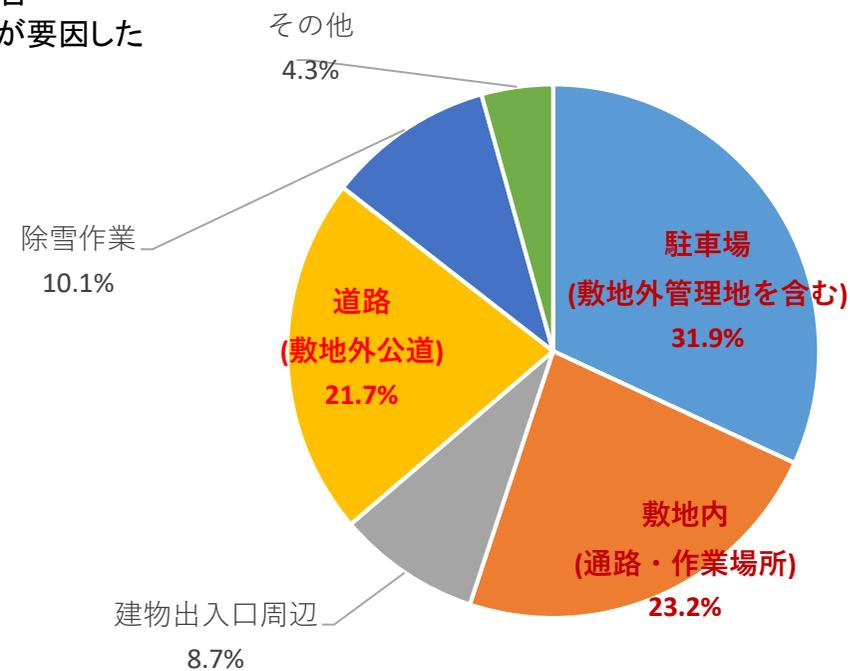


降雪期の転倒災害・発生場所別（降雪期：1月から3月及び12月）

大館労働基準監督署

年	屋外	屋内	合計	屋外（雪又は凍結等が要因）							屋外（雪、凍結以外）	屋内		
				合計	駐車場 (敷地外管理地を含む)	敷地内 (通路・作業場所)	建物出入口 周辺	道路 (敷地外公道)	除雪作業	その他	屋外） つまずき など	屋内 つまずき	屋内 滑り	屋内 その他
R 5	19	5	24	17	6	2	1	6	2		2	1	2	2
R 4	27	6	33	27	7	9	2	4	4	1		1	1	4
R 3	27	9	36	25	9	5	3	5	1	2	3	3	2	3
合計	73	20	93	52	22	16	6	15	7	3	5	5	5	9

図表7 降雪期の転倒災害発生場所別

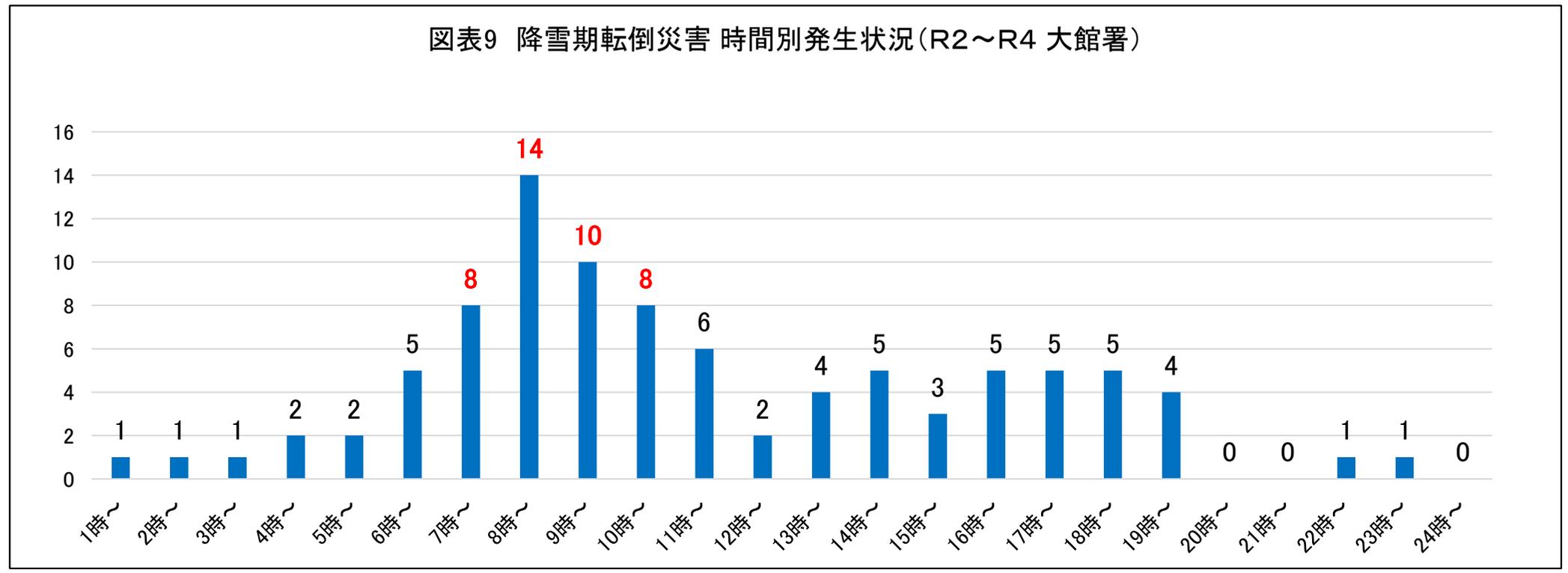
図表8 降雪期の転倒災害
屋外で雪又は凍結等が要因した
転倒災害内訳

降雪期の転倒災害・発生時間別（降雪期：1月から3月及び12月）

大館労働基準監督署

	1時～	2時～	3時～	4時～	5時～	6時～	7時～	8時～	9時～	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～	19時～	20時～	21時～	22時～	23時～	24時～	合計
R5				1	1	3		3	2	2	1		1	2	1	1	2	4							24
R4			1		1	2	4	6	4	4	4		1	1	1	1		1	1				1		33
R3	1	1		1			4	5	4	2	1	2	2	2	1	3	3		3			1			36
合計	1	1	1	2	2	5	8	14	10	8	6	2	4	5	3	5	5	5	4	0	0	1	1	0	93

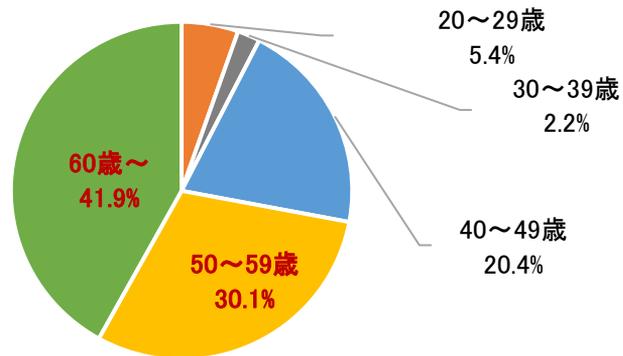
図表9 降雪期転倒災害 時間別発生状況(R2～R4 大館署)



大館労働基準監督署

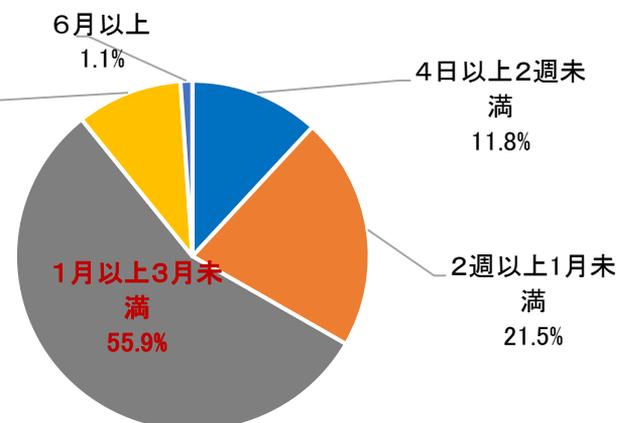
降雪期の転倒災害・年齢別（降雪期：1月から3月及び12月）

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
R5		1		3	11	9	24
R4		2	1	9	10	11	33
R3		2	1	7	7	19	36
合計	0	5	2	19	28	39	93

図表10 降雪期転倒災害
年齢別発生状況

降雪期の転倒災害・被災程度別（降雪期：1月から3月及び12月）

	4日以上 2週未満	2週以上 1月未満	1月以上 3月未満	3月以上 6月未満	6月以上	死亡	計
R5	4	4	13	3	0	0	24
R4	6	8	18	0	1	0	33
R3	1	8	21	6	0	0	36
合計	11	20	52	9	1	0	93

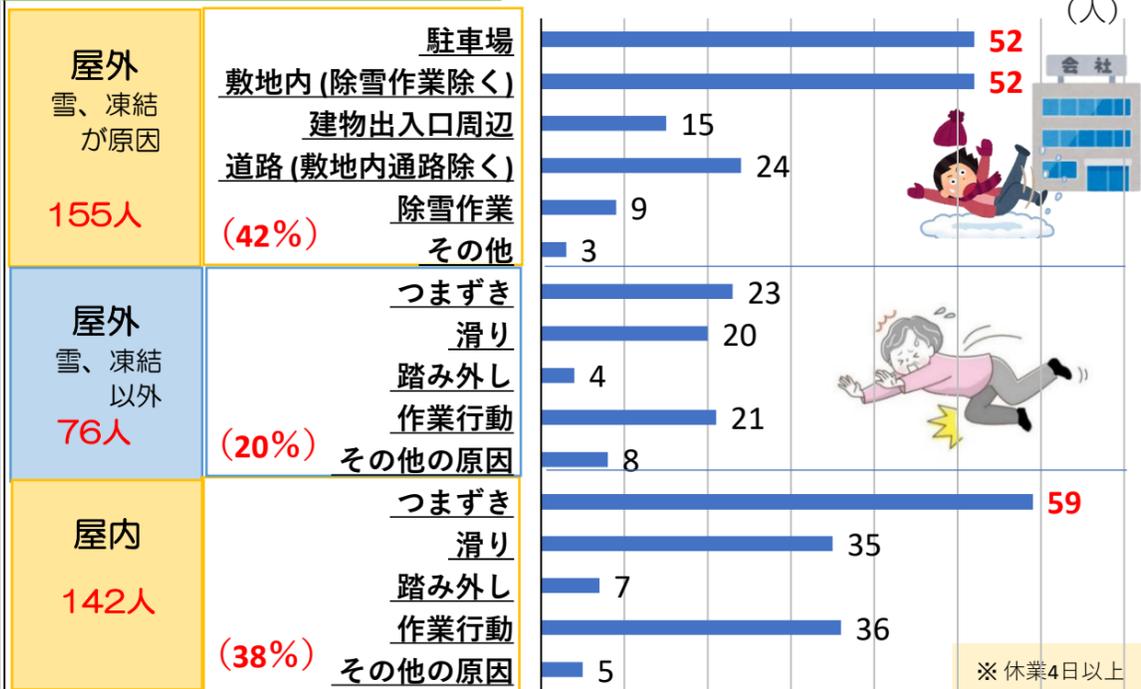
図表11 降雪期転倒災害
被災程度別
3月以上6月未
満

要警戒 冬季の転倒災害!!

屋内での「つまずき」にも注意

「屋内・屋外別」、「発生場所」、「転倒の原因別」(令和4年秋田県内)

転倒災害による被災者数：373人

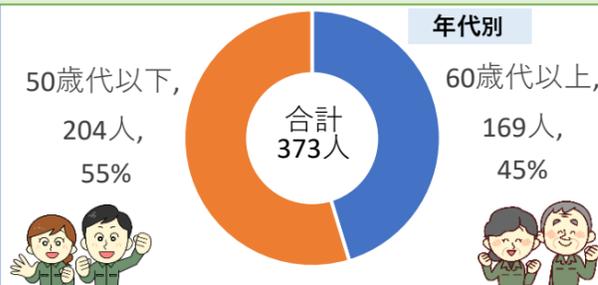


転倒防止 かべ新聞

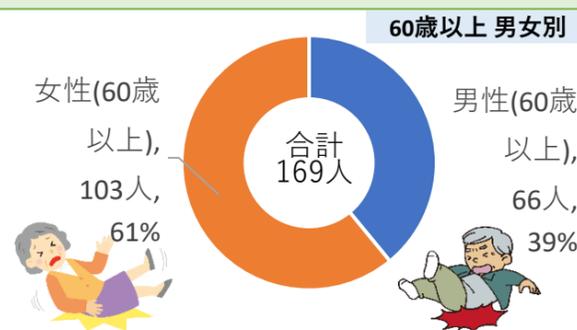


発行：2023.11 Vol.5
秋田労働局
労働基準部 健康安全課
秋田市山王7丁目1-3

60歳以上の転倒災害の割合は45%



そのうち、女性の割合は61%



屋外での転倒災害は62%!! 冬季(12月~3月)の転倒災害は57%、その原因は「雪、凍結」が42%!! そのうち、発生場所が「駐車場」と「敷地内(除雪除く)」が最多! 雪や凍結した通路等で、滑って転倒することを防止するため、除雪・融雪、滑りにくい冬靴の着用、また、足元が十分に確認できるよう照明の確保等を徹底しましょう。

高齢女性の転倒リスクは高い!?

中高年齢労働者の転倒災害、特に加齢による骨密度の低下等が顕著な高齢女性の災害発生率が高い状況にあります。整理整頓や段差の解消等といった「ハード対策」のほか、転ばない体づくりなど、個々の労働者の転倒やケガのしやすさへの対応といった「ソフト対策」が重要です。加齢に伴い身体機能が徐々に低下すると、筋力、バランス感覚、瞬発力、柔軟性等が衰え、とっさの反射的防御動作が素早く行えなくなります。厚生労働省では、転倒災害防止のための「ソフト対策」の導入にお役立ていただくため、以下のようなYouTube動画を配信していますので、是非、取り組んでみてください。

転倒・腰痛予防! 「いきいき健康体操」 全15種類のうち、2種類を紹介!!

1. じっくりスロースクワット

足腰を鍛える運動です。人生100年時代を乗り切るため、毎日行いたい基本体操と言えるでしょう。

両手を前へ出すと、バランスがとりやすくなります。しゃがむ深さは太ももが床と平行になるくらいが目安ですが、ご自分の体力に合わせて行ってください。

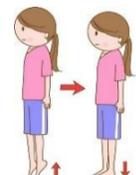


チェックポイント

- ✓ 膝とつま先が同じ方向を向いているか
- ✓ 膝がつま先より前に出ず行えているか
- ✓ 沈んだ状態から戻る際に膝を伸ばし切らずに行えているか

2. 骨太かかと落とし

かかとを刺激して骨粗しょう症の予防を目指します。つま先立ちから、かかとをしっかりと落とします。同時に手拍子を打つと、脳の活性化も期待できます。



チェックポイント

- ✓ かかと落としと手拍子がリズムにあっているか

測定目的

歩行能力、下半身の筋力を把握するため、2歩でどれだけ進んだかを測定します。

測定時の注意点

- ・滑りにくい床を選びましょう。
- ・ケガや痛みがある場合は、実施を見合わせましょう。

測定方法

- 1 両足のつま先をスタートラインに揃えて立ちます。
- 2 反動をつけずに可能な限り大股で2歩あるき、2歩目の位置で両足を揃えて立ちます。
- 3 スタート位置から2歩目のつま先までの距離を測ります。

測定結果の見かた

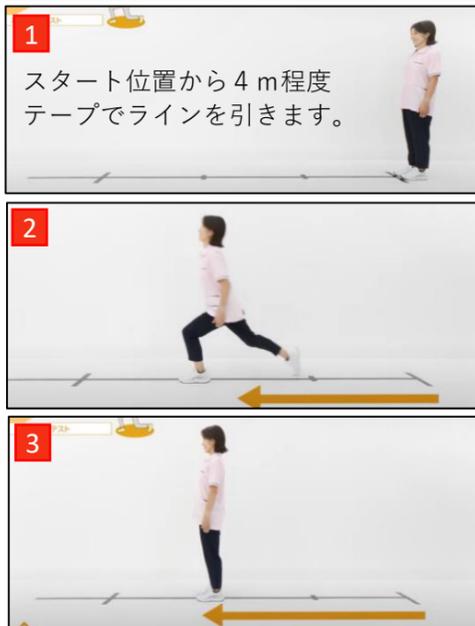
- ・進んだ距離 ÷ 身長 = 結果
- ・結果を評価表に当てはめます。
- ・評価表の数値が「5」に近いほど転倒などのリスクが低い。
- ・特に「2」以下の場合は転倒等のリスクが高く注意が必要です。

次の場合は測定をやり直します。

- ・スタート位置がずれる・バランスを崩して手をついてしまう・ジャンプする
- ・両足で止まれない・歩行動作を止める・足を引きずって立ち上がる

転倒リスクを 測定してみよう!!

2ステップテスト



評価	1	2	3	4	5
距離 / 身長	~ 1.24	1.25 ~ 1.38	1.39 ~ 1.46	1.47 ~ 1.65	1.66 ~

転倒腰痛予防体操

検索

転倒リスク2ステップ

検索



QRコードから動画が視聴できます



秋田の冬は

転ばない!



おっとっと!
Safe! Safe!



危険箇所の「見える化」の取組みもお願いします

転倒注意

ぬれた床
滑りやすい

転倒注意

屋外に出るとき
履物交換

転倒注意

足元注意
(通路の荷物)

転倒注意

この先
段差あり



STOP! 転倒災害



秋田労働局・転倒災害防止プロジェクトチーム

STOP! 転倒災害

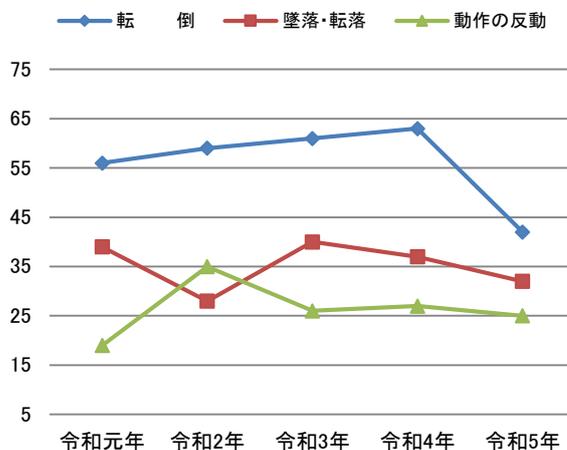
STOP! 転倒災害
プロジェクト

1 労働災害発生状況(事故の型別)

当署管内(大館市・北秋田市・鹿角市・小坂町・上小阿仁村)において発生した労働災害を事故の型別で見ると、過去5か年では「**転倒**」災害が最も多い状況です。令和5年における労働災害は**196件**発生(新型コロナウイルスを除く)し、そのうち「**転倒**」災害は**42件**発生しており、全体の**21.4%**を占めています。

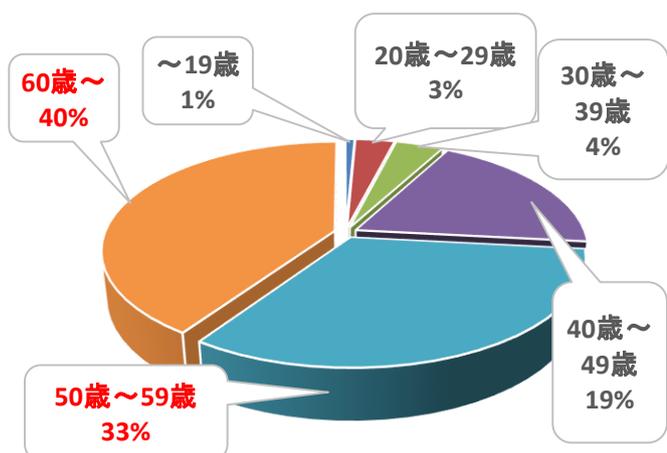
【秋田労働局管内(令和4年)】

労働災害は**1,177件**発生(新型コロナウイルスを除く)し、そのうち「**転倒**」災害は**402件**発生しており、全体の**34.2%**を占めています。



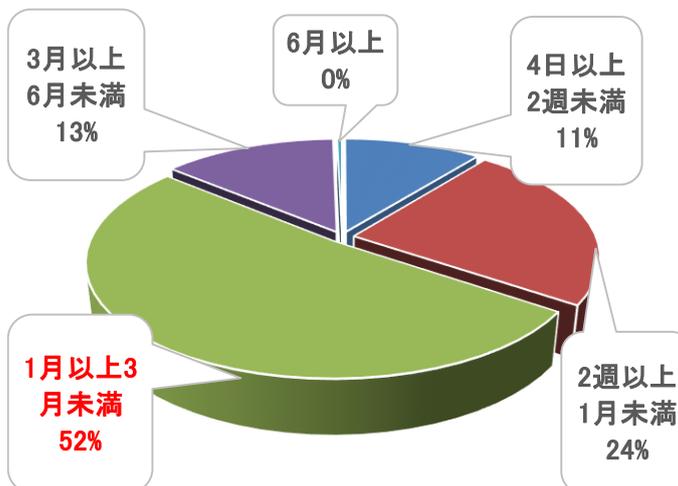
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
転倒	56	59	61	63	42
墜落・転落	39	28	40	37	32
動作の反動	19	35	26	27	25
全発生件数	210	220	218	212	196

2 中高年の方が多く、休業期間も長期化



過去5年間の負傷者を年齢別(性別問わず)に分析すると、**60歳以上の方が40%、50歳から59歳の方が33%**であり、**年齢が高くなるほど負傷者が多くなる傾向**にあります。

過去5年間の負傷により休業を要する期間は、**1月以上3月未満の方が145件と全体の52%**を占めています。転倒災害では、**大腿骨や手首の骨折**などにより**長期療養や重い後遺障害**の残る災害が発生しています。



※負傷により休業を要する期間は見込みであり、実際の休業期間とは異なります。



労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています
事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じなければなりません

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- (なし) 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒 (27%)
➢ 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入 (★)
-  作業場・通路に放置された物につまずいて転倒 (16%)
➢ バックヤード等も含めた整理、整頓 (物を置く場所の指定) の徹底
-  通路等の凹凸につまずいて転倒 (10%)
➢ 敷地内 (特に従業員用通路) の凹凸、陥没穴等 (ごくわずかなものでも危険) を確認し、解消
-  作業場や通路以外の障害物 (車止め等) につまずいて転倒 (8%)
➢ 適切な通路の設定
➢ 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
-  作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒 (8%)
➢ 設備、什器等の角の「見える化」
-  作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒 (7%)
※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い
➢ 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる



職場3分
エクササイズ



中央労働災害
防止協会
転倒予防セミナー



「滑り」による転倒災害の原因と対策

-  凍結した通路等で滑って転倒 (25%)
➢ 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する (★)
-  作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒 (19%)
➢ 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
(清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してからの開放の徹底)
-  水場 (食品加工場等) で滑って転倒 (16%)
➢ 滑りにくい履き物の使用 (労働安全衛生規則第558条)
➢ 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工 (★)
➢ 隣接エリアまで濡れないよう処置
-  雨で濡れた通路等で滑って転倒 (15%)
➢ 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う
(★) については、高齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」(補助率1/2、上限100万円)を利用できます
中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます



エイジフレンドリー補助金



中小規模事業場
安全衛生サポート事業



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

(R5)

(上記資料の内容は、厚生労働省作成リーフレットより抜粋)

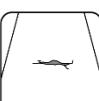
労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています
事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じる必要があります

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- 

何も無いところにつまずいて転倒、足がもつれて転倒
 > 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入（★）
- 

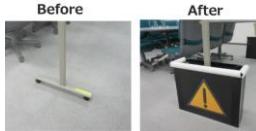
作業場・通路に放置された物につまずいて転倒バックヤード等も含めた**整理、整頓**（物を置く場所の指定）の徹底
- 

通路等の凹凸につまずいて転倒
 > 敷地内（特に従業員用通路）の**凹凸、陥没穴等**（ごくわずかなものでも危険）を確認し、**解消**
- 

作業場や通路以外の障害物（車止め等）につまずいて転倒
 > 適切な通路の設定
 > 敷地内駐車場の車止めの「見える化」
- 

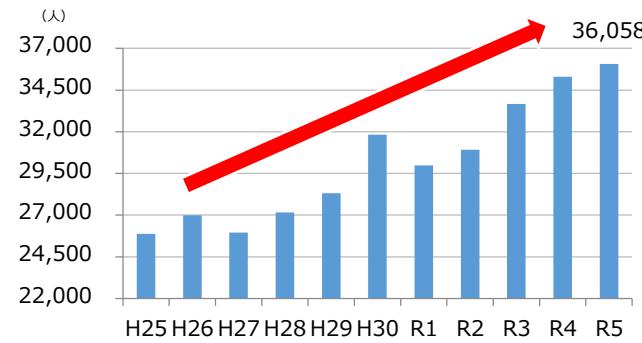
作業場や通路の設備、什器、家具に足を引っかけて転倒
 > 設備、什器等の角の「見える化」
- 

作業場や通路のコードなどにつまずいて転倒
 ※引き回した労働者が自らつまずくケースも多い
 > 転倒原因とならないよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に遵守を徹底させる

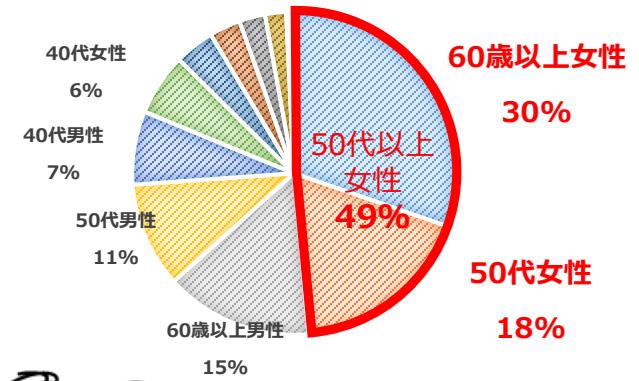


職場で転倒して骨折（転倒災害） 資料3

転倒災害は増加の一途



性別・年齢別内訳（令和5年）



転倒災害による平均休業日数（令和5年）

48.5日

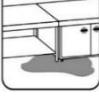
※労働者死傷病報告による休業見込日数

よくある転倒の原因と対策

「滑り」による転倒災害の原因と対策

- 

凍結した通路等で滑って転倒
 > 従業員用通路の除雪・融雪。凍結しやすい箇所には融雪マット等を設置する（★）
- 

作業場や通路にこぼれていた水、洗剤、油等により滑って転倒
 > 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する。
 （清掃中エリアの立入禁止、清掃後乾いた状態を確認してから開放の徹底）
- 

ウェットエリア（食品加工場等）で滑って転倒
 > 滑りにくい履き物の使用（労働安全衛生規則第558条）
 > 防滑床材・防滑グレーチング等の導入、摩耗している場合は再施工（★）
 > 隣接エリアまで濡れないよう処置
- 

雨で濡れた通路等で滑って転倒
 > 雨天時に滑りやすい敷地内の場所を確認し、防滑処置等の対策を行う



転倒リスク・骨折リスク

- > **加齢とともにすべての人が、転びやすくなります**
 ✓ いますぐ「転びの予防 体力チェック」
- ✓ 「毎日かんたん！口コモ予防」（出典：健康寿命をのぼそう SMART LIFE PROJECT）
- > **特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します**
 ✓ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう
 ✓ 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」（出典：健康寿命をのぼそう SMART LIFE PROJECT）



（★）については、高齢労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイジフレンドリー補助金」を利用できます

中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます